環境にっこう

KANKYO NIKKO

No.38

2018/10

発　行　日光市役所産業環境部環境課
〒321-1292
今市本町１番地（本庁第4庁舎1階）
TEL 21－5152　FAX 21－5128
Eメール　kankyou@city.nikko.lg.jp

「釣り無心」仲川　弘道 氏（群馬県太田市）
奥日光清流清湖フォトコンテスト 2017　副会長賞

「学産官連携協定“RENIKS PROJECT”(※)」による小水力発電導入促進事業

○日光市杉並木公園へ看板等を設置しました！

“RENIKS PROJECT”の取り組みも、今年度で3年目を迎えました。今年度4回目のワークショップ（8月3日）では、今市工業高等学校3年生のみなさんが、33℃もの猛暑の中、杉並木公園の再整備を行いました。小水力発電装置「ピコピカ」のメンテナンスやイルミネーションの補修をしました。今市円筒分水井の説明看板、“RENIKS PROJECT”の取り組みの説明看板を製作・設置し、より一層歩いて楽しめる公園になるように活動しました。また、旧江連家横にベンチを移設しました。ぜひ杉並木公園にお立ち寄りください。

○“RENIKS PROJECT” 成果発表会にお越しください！

3年間の取り組みについて、高校生から解説をします。また、実際に杉並木公園に設置されている小水力発電装置も展示しますので、みなさまの参加をお待ちしております！

日時：平成 30 年 12 月7日（金）　14:00 ～ 15:00
場所：道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣多目的広場・市民ギャラリー

また、11月17日～12月20日の間、市民ギャラリーでパネル展示をします。ぜひお立ち寄りください。

（※）「学産官連携協定“RENIKS PROJECT”」とは…
平成 28 年３月協働のまちづくりの推進と再生可能エネルギーの普及促進を図ることを目的に、今市工業高等学校、㈱協和コンサルタンツ、㈲角野製作所及び日光市の４者が締結した協定。再生可能エネルギー（RENEWABLE ENERGY）、日光市（N）、今市工業高等学校（I）、㈱協和コンサル（K）及び㈲角野製作所（S）の頭文字をとったもの。

「住宅用太陽光発電システム設置費補助金」終了のお知らせ

太陽光発電システム設置費用の下落が確認でき、固定価格買取制度によって売電収入も得られることから、住宅用太陽光発電システム設置費補助金は平成31年3月末をもって終了することとなりました。

予算の範囲内で受付します（60件程度）ので、対象となる方はお早めに申請頂きますようお願いいたします。

▶申請にあたっては市ホームページをご覧ください
https://www.city.nikko.lg.jp/kankyou/guide/tochi/hatsuden/h30solar.html

お問い合わせ先　環境課：TEL（21）5152

小代の「シモツケコウホネ」（下野河骨）

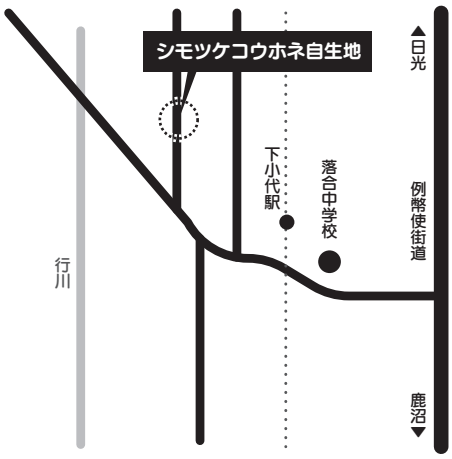
シモツケコウホネは、２００６年に新種として発表されました。

世界中で栃木県内の限られた場所にしか生育していない希少種で、環境省レッドリスト　絶滅危惧ＩＡ類の中でも特別に「国内希少野生動植物種」に指定されています。これにより採集や所持、流通が禁止されています。

北海道から九州まで分布する同じ属のコウホネとは異なり、水の中にしか葉を作らず、黄色い花の中心にある柱頭盤が赤いことも特徴です。水中の葉っぱは茶色くてワカメそっくりなので地元では「川わかめ」と呼ばれているそうです。

地元有志による「シモツケコウホネと里を守る会」では、貴重なシモツケコウホネを守るために、新潟大学の志賀隆准教授の研究チームと連携し定期的な草刈りや移植などの保全活動、専門家を招いての観察会、水質・開花状況の調査などを行っています。このような取り組みが評価され、２０１３年みどりの日自然環境功労大臣表彰、２０１４年下野ふるさと大賞準大賞を受賞しました。

現在も自生地では多くのシモツケコウホネが群生し、毎年６月から９月末頃までかれんな黄色い花を観察することができます。



自生地での観察の際には、次の点にご注意ください。

- 水路の土手は自然に近い状態なので、人が乗ると簡単に崩れてしまいます。水路の縁に近づかないで下さい。
- 水路内には絶対に立ち入らないで下さい。葉を痛めてしまいます。
- 水路内に三脚を立てることもご遠慮下さい。
- 近くには民家もあるので、迷惑にならないようお願いします。

貴重なシモツケコウホネを守るために、ご協力をよろしくお願いします。

奥日光の外来植物

日光国立公園内の奥日光地域ではオオハンゴンソウをはじめとした外来種の植物が繁殖しています。
これら外来種は生命力が強く、その地域にもともと存在していた在来種の生息を脅かし増え続けています。
日光市では毎年ボランティアの方々を募集し、オオハンゴンソウやフランスギク等外来種の駆除を行っています。

※外来種は、見た目は普通の花と変わりなく綺麗に咲いていますが、とても繁殖力が強く、法律で許可のない栽培や運搬が禁止されています。安易に持ち帰ると付近の生態系に大きな被害をもたらす可能性がありますので絶対にやめましょう。

危険！

被災して壊れた太陽光発電設備に近寄らないで！

- 地震や風水害で被災し、壊れた太陽光発電設備でも、光が当たると発電し、切断されたケーブル等によって感電する危険性があります。このような設備がありましたら、不用意に近づかず、電気工事士やメーカー等の専門家の指示を受けてください。
- パネル部分は、ガラスでできています。破損部分に触れるとケガをする可能性があります。
- 破損したパネルに雨水などが当たると、有害物質が流出する恐れや感電する危険性も高まります。
- 危険性のある太陽光発電設備には、みだりに人が触れないように囲いを設けたり、張り紙をしたりして注意を促してください。

中禅寺湖湖上学習会

「奥日光清流清湖保全協議会」主催の中禅寺湖湖上学習会を8月3日㈮に開催しました。この学習会は、奥日光水域の自然に親しむとともに、水環境保全への理解を楽しみながら深めていただくことを目的としています。

午前中は遊覧船に乗って中禅寺湖を周遊しながら、透明度等の水質調査や、湖に生息しているプランクトンの採取、パックテストを用いた水質の学習を行いました。体験を通じて、中禅寺湖の水質が保たれていることを学習することができました。

午後は「日光自然博物館」で、午前中に採取したプランクトンの観察や博物館見学を行いました。プランクトン観察は顕微鏡を使用して行い、みんな夢中になってプランクトンの動きを追いかけていました。

当日は44名の参加者が、体験活動を通じて楽しみながら、奥日光の水環境について学ぶことができました。

参加者募集

第2回 水と緑の体験ツアー

秋の深まる戦場ヶ原を歩きながら、森と水のつながりについて考えてみませんか？

◆開催日　平成３０年１０月２７日（土）
◆場　所　戦場ヶ原
◆内　容　自然観察会（解説：日光自然博物館）
　　写真撮影教室（講師：サトーカメラ㈱）
◆参加費　無料

※申込み方法など詳しくは、日光市ホームページで内容をご確認ください。
http://www.city.nikko.lg.jp/kankyou/gyousei/shisei/kankyou/seiryuuseiko.html

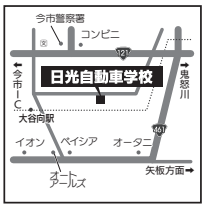
エコドライブで燃費改善しよう！

最近はガソリン代も高いけれど、日光市は広いから車を使わないわけにはいかない……。そんな方も多いのではないでしょうか？
エコドライブを実践すれば、ほんの少しの気配りで車の燃費が改善でき、燃料代が節約できて、二酸化炭素排出量の削減に貢献できます。
エコドライブのちょっとしたコツでお財布にも地球にも優しいあなたになれます！

エコドライブ講習会のお知らせ

講習会では、インストラクターの指導のもと普通乗用車を運転し、燃費を計測しながらエコドライブを学ぶことができます。
講習会の最後には、参加者の一人ひとりに結果診断書をお渡ししますので、改善結果が一目でわかります。

◆日　　時　10月29日（月）
　　午前の部　9:00～12:00　　午後の部　1:00～4:00
◆場　　所　日光自動車学校（日光市倉ヶ崎新田122－1）
◆対　　象　市内に在住または在勤の方で、普通自動車免許をお持ちの方
◆参 加 費　無料
◆定　　員　午前・午後の部　各15人（※先着順になります。）
◆講　　師　一般社団法人日本自動車連盟栃木支部（JAF）
◆申込方法　環境課宛て電話、Eメール等で申込み
　　電話 0288－21－5152　　Eメール　kankyou@city.nikko.lg.jp



※次の項目について教えてください。
お名前、ご住所（市外の方はお勤め先）、年齢、運転歴（年数）、ご連絡先電話番号、参加希望の部（午前または午後）

◆募集締切　　平成30年10月10日（水）

参加者の声

●普段の運転を見てもらう機会はなかなかないので、貴重な体験でした。アクセル・ブレーキの使い方を見直すきっかけになりました。
●発進時のアクセルの感じがわかった。気を付けて運転することで、燃費が大きくかわることを学べた。
●目で見えるようにデータ化していただけて、どこを改善すべきかなど分かりやすかった。
●エコドライブが安全運転につながります。気持ち、操作に余裕が持てるということを改めて実感しました。

皆さんもエコドライブを習得して、気持ちよく運転してみましょう！

お問い合わせ先　環境課：TEL(21)5152

ごみステーションルールを守って快適に利用しましょう！

ごみステーションは地域の皆さんが共同で設置・管理している地域の公共施設です。ルールを守って気持ちよくご利用ください。

▼朝8時30分までに出してください

ごみは収集日の朝8時30分までに出してください。朝8時30分以降に出されたごみで、ごみ収集車が回収した後に出されたごみはステーションに残ってしまいます。

▼燃えるごみは指定ごみ袋に入れて出してください

生ごみやプラスチック製品などの燃えるごみは、指定ごみ袋に入れて出してください。指定ごみ袋に入らない大きさのものは直接クリーンセンターに搬入してください。

また、刈草・落葉、せん定枝、紙おむつ、ふとんなどは有料化対象外になります。せん定枝は太さ2㎝、長さ50㎝以内にして、片手で持てる程度に束ねて出してください。

刈草・落葉は透明・半透明の袋に入れて出してください。

おむつは、汚物を取り除いた後、透明・半透明の袋に入れ、袋の外側に「おむつ」と記入して出してください。

ふとんは、座ぶとん程度の大きさに切り、袋に入れるかひもで縛って出してください。

▼ペットボトルはラベルとキャップを分別してください

効率よくリサイクルするため、ペットボトルのラベルとキャップは分別してください。分別したラベルとキャップは燃えるごみで出してください。

▼スプレー缶等の出し方に注意してください

ガスが缶に残ったままごみとして捨てられると、ごみ収集車やごみ処理施設で圧縮された際にガスが漏れ出し、このガスに金属同士の接触で生じた火花が引火すると、ごみが燃え上がる火災事故につながってしまいます。全国的にも同様な事故が発生しております。

安全にごみを処理するために、出し方のルールを守りましょう。

○スプレー缶やカセットボンベ・・・使い切った後、完全にガスを抜くために穴を空けて出してください。

○使い捨てライター・・・ガスを完全に抜いて出してください。

▼カラス除けネットを貸し出しています

市ではカラス除けネットを貸し出しています。貸し出し後、5年以上経過して破れてしまっているネットは、新しいものと交換できます。詳しくは自治会の環境美化委員にご相談ください。

また、ごみ袋の下にカラス除けネットの端を押し込むなど、ごみ袋を包み込むようにネットをご使用いただくと効果的です。

資源・ごみ分別アプリ「さんあ～る」インストールはお済みですか？

資源・ごみ分別アプリ「さんあ～る」は、分別方法を手軽に検索したり、資源やごみの収集日をお知らせする機能がついているアプリです。

ごみ収集日の変更も自動配信でお知らせします。

ぜひ、ご利用ください。

Available on the App Store

Google play